

昨年秋、台風洪水激甚災害支援報告

昨年10月初旬から12月初旬までのベトナム中部の集中豪雨と台風被害は、20年に一度の大きなもので、7つの大きな台風により、北は、中部北のクアンビン省から、多くの井戸支援をしているクアンナム省まで、広範囲に被害が出ました。

クアンナム省の最も貧しい郡の一つであるナム・チャ・ミでは、大きな土砂崩れが発生し、11の家が巻き込まれ、53人の山岳少数民族の人々が行方不明となりました。

そうした中、当法人の現地ボランティアスタッフであるThuy女史から、その様子の写真が届きました。その被害に、支援の手を差し伸べることは、ベトナム支援に関わる海外の団体として、あるべき姿のように感じられました。



中部、クアン・チ省での支援

特に、身体が不自由な方々や、老人を抱えた家では、その被害の状況は深刻でした。

支援金は、日本から送金したそのままの金額で現地へ届けられ、Thuyさんの友人で、Ecodit.LLC という障がい者支援団体でプロジェクトマネージャをしているLoi Ngo(ロイ)さんより、ダナン北西部の Quang Tri (クアンチ)郡の22世帯の被災者一人一人に、「災害見舞金」として届けていただきました。

“adidas”の黒いTシャツを着ているのが、ロイさんです。



Thuy女史から届いた
土砂崩れで両親を失った少女



洪水被害への支援の呼びかけに応え、大きな支援を寄せていただいた会員ならびに役員の方々に、心から感謝申し上げます。



甚大な被害のあった Quang Nam(クアンナム)省、 Nam Tra My郡とBac Tra My郡での支援 (ナム・チャミー) (バック・チャミー)

今回の支援金で、クアンナム省の学校に、学用品を購入し届けてくれたのは、中部Da Nang市のDOLISA(労働傷病兵社会問題局)のスタッフであるHoa(ホア)さんです。彼女も、Thuy女史の友人です。

山岳少数民族CaDong族の人々が暮らす貧しい村のTra Van(チャ・ヴァン)小学校に、400人分のノートや筆記用具を運び配って支援してくれました。遠い生徒は、5kmもの危険な道のりを歩き、列を作って並び、喜びの笑顔で、支援品を受け取ってくれていました。Tra Van小学校の校長先生からは、シーエスアールスクエアあての(間違えて「CRS2」となっておりますが)領収書が届きました。

祝日である「教師の日(11月20日)」が、近かったこともあり、先生方へは、70枚のスカーフもプレゼントできました。



ホアさんと
女子中学生

校長先生から
の領収書



雨の中、危険な道5kmを歩き
支援品を受取りに並ぶ子供たち



先生から支援品を手渡された
低学年の子供たち

2020年 ベトナム中部洪水被害概要 (ピースボート災害支援センター、ホームページより抜粋)

ベトナム中部では、2020年10月初めからの集中豪雨と7つの台風により各地で洪水や土砂崩れなどの被害が発生しています。死者・行方不明者の数は230名を超え、浸水被害件数は39万棟、支援を必要とする人の数は150万人以上にのぼるとみられています。ベトナムでは史上最悪とも言われる大規模水害を受けて、現地では食品、日用品、衛生用品、家屋や公共施設の修繕のための資機材、農業用品など、あらゆる分野での支援が必要とされています。ベトナム政府は国際社会に支援を要請していますが、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大による出入国制限の影響などもあり、支援団体が駆けつけて大規模な緊急支援を実施するのが困難な状況が続いています。